

参考 1) LED の調光制御方式 電源ユニット 1 次側

	システム構成	波形	メリット	デメリット
位相制御 照明器具の 入力電圧制御		<p>電源</p> <p>リーディングエッジ方式 トレーリングエッジ方式</p>	<ul style="list-style-type: none"> 配線工事などが簡易 (電源線とは別の調光制御信号の配線が不要:2線式) 	<ul style="list-style-type: none"> 低調光率でちらつく 電源制御のノイズにより他設備に影響しやすい。 使用する照明器具との相性確認が必要
調光信号用PWM 照明器具の 調光信号		<p>電源</p> <p>制御信号</p>	<ul style="list-style-type: none"> 低調光率までちらつきなく制御できる。 同一メーカーの照明器具と調光器であれば、蛍光灯と同じPWM調光制御信号が使える。(違うメーカー間の場合ですと、調光信号の仕様の確認が必要になります) 	<ul style="list-style-type: none"> 照明器具(電源)へ電源線の変更が必要。また、調光制御信号の配線が必要:4線式 PWM信号はメーカー毎で異なる
DMX 照明制御通信		<p>電源</p> <p>制御信号</p> <p>デジタル信号</p>	<ul style="list-style-type: none"> DMXに準拠している機器であれば、異メーカー間の接続が可能 制御速度が速い (舞台、宴会場向き 250kpbs) 	<ul style="list-style-type: none"> 器具単体制御まで求められることは少ないので、過剰スペックとなりがち。
DALI 照明制御通信		<p>照明制御通信はビル照明などを統合的に制御する場合に利用するものと定義。 照明器具内、もしくは外にある通信ユニットが照明制御通信を受け、LED電源に調光信号を送信する。もしくはLED電源内に通信ユニットを組込んでいる場合は、照明制御通信が直接、LED電源を制御する形になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> DALIに準拠している機器であれば、異メーカー間の接続が可能 DALIモジュール単位(主として器具組込)の制御が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 器具単体制御まで求められることは少ないので、過剰スペックとなりがち。 制御速度が遅い(1.2kpbs)